



安心とつるおの下の野川の手をめぐって

防災 まがづらり夏版

発行ノ一寺言問を防災のまちにする会

1989. 8. 1.



緑色づく向島有季園。防災菜園の向こうに見えるのは路地専

オアシ 向島有季園に緑 小水

有季園がオープンしました。14区画の防災菜園では利用者の人たちが、ミニトマト、ナス、こまつな等、野菜づくりをすすめています。栽培の水はもちろん路地専の雨水。有季園の名にちなんで「有機」農法でつくられています。一言金は、利用者と協定を結び、みんなが楽しめる緑づくりをすすめています。ちなみに次回の利用者の募集は、来年一月の予定です。



向島五丁目
植竹モト子

とっても優雅

有季園に植えられた野菜たちの命の水になっていっているのが、路地専の水。この水は有季園のお隣りにすむ植竹さんのお宅に降った雨水を地下タンクに集めたものです。

植竹さんは緑大好き人間で、菜園利用にも応募され、春菊やチンゲン菜などを植え、収穫をとっても楽しみにしているそうです。

「窓を開けると、緑が見えるのよ。毎日大きく、緑が増えていくのが気持ちいいわね。今どきこんな町なかで貴重な土地を畑にするなんて優雅よね。野菜を育てるように、有季園もみんなが育てていくことが大切だと思うわ。」
(高原純子)



▲テープカットするのは、一寺言問の「ゆき」ちゃん、左から飯島勇樹くん(言問小2年)、浜崎由起子さん(言問小6年)、高野雄貴くん(一寺小2年)。
◀区画の割りあては、くじ引きで決めました。

オープニングセレモニー

日(日)、小雨の中を多くの開つめて、開園式がおこなわれまの模様はテレビで放映されました。

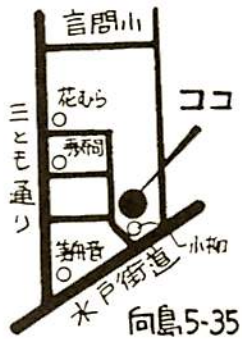
(「ときわ」タウンス「みた」テレビ東京) 毎週木曜日夜7時54分～



▶六月十八日の利用者会議風景

有季園の管理

一言金は、墨田区と賞金を交し、向島有季園の管理運営をおこなうことになりました。同時に、一言金は利用者と、利用内容や利用期間、維持管理などについて協定を結びました。



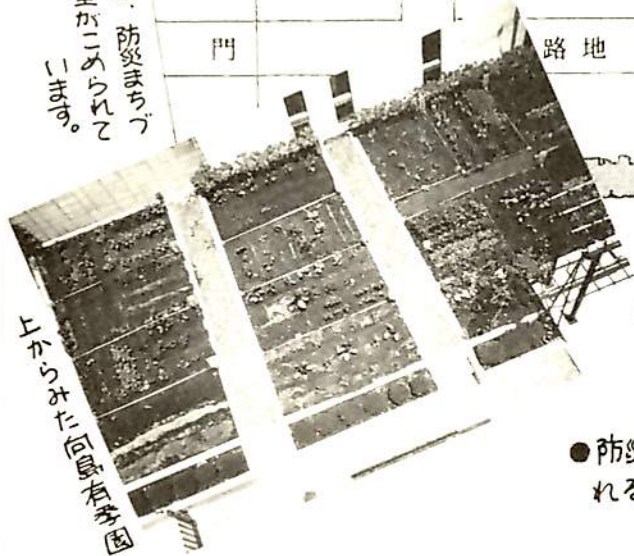
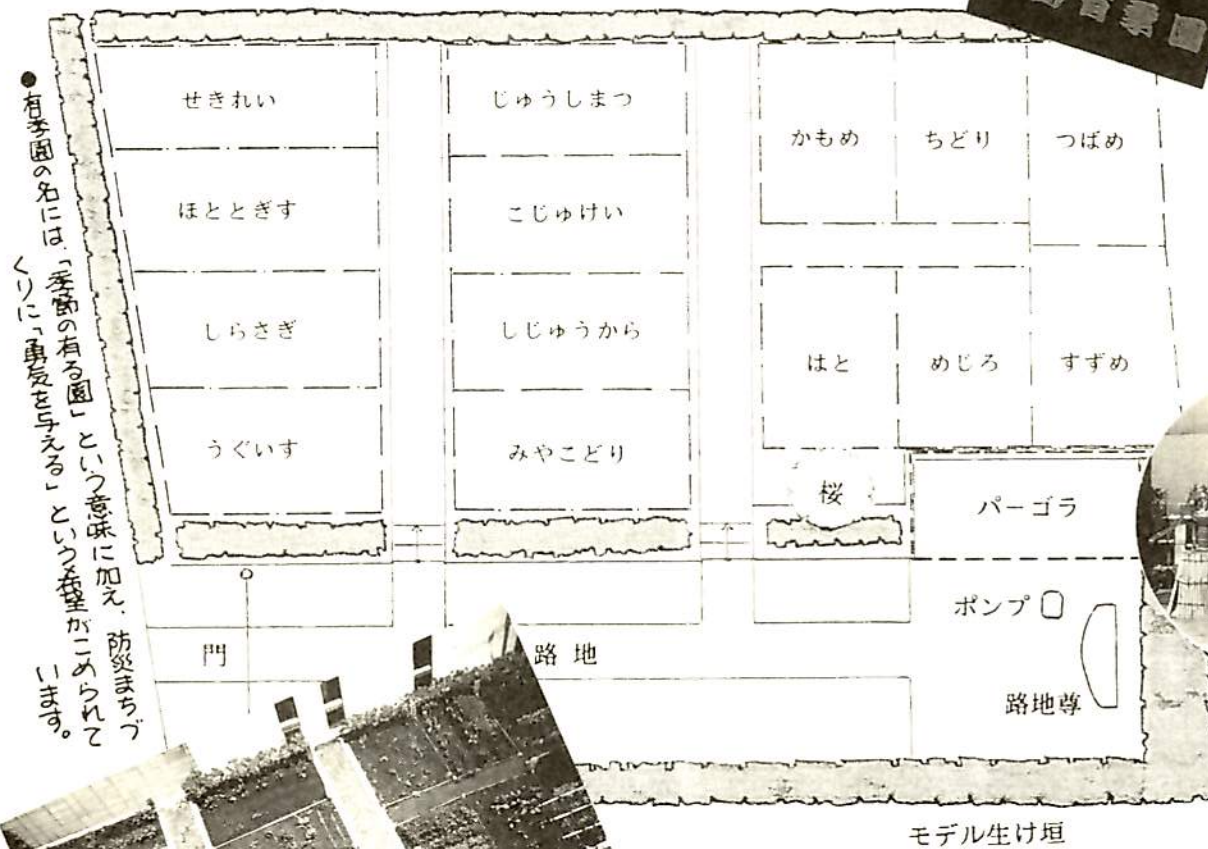
平成元年度
向島有季園・防災菜園の利用者

区画名	氏名	住所
めじろ	高山隆二	東向島1-25-7
すずめ	大内嘉信	東向島1-29-16
こさぎ	土屋初美	向島5-31-5-601
はと	石橋康人	向島5-34-5
つばめ	植竹モト	向島5-35-14
かもめ	井上曜子	東向島3-37-7-404
せきれい	土谷百合江	東向島3-17-3
みやこどり	寺島保育園	東向島1-23-10
じゅうから	木村都子	東向島1-22-8
ほととぎす	橋本隆彦	東向島1-17-8-403
こじゅけい	人見源一	堤通1-5-9-301
じゅうしまつ	宮崎芳望	堤通1-10-6
ちどり	河合村衣子	向島5-33-12
うぐいす	清水 武	堤通1-7-16

※向島有季園についてのお問い合わせは、一言会の有季園担当理事まで。小倉 tel (622)4441 徳永 tel (611)0530

防災小緑地「向島有季園」のデータ

広さ：約110㎡。防災菜園：14区画(約56㎡) 工事費：約590万円。



- 防災菜園の利用期間は、来年の1月31日までです。次回は再び瓦版で募集します。利用期間は3月1日から翌年1月31日までです。
- 防災菜園の区画名は、一寺言問に限りがあると思われる鳥の名をつけました。

またご自身が消防隊員をしてらっしゃるので、「路地尊が近くにあると心強いですよ。いざ災害が起きた時、初期消火に使えるでしょ」と、路地尊の水にも目がいきます。(高原純子)

有季園の前にあるおすし屋さん。植木は趣味でつくっていましたが、野菜づくりは初めてだということ。そこでお客さんになすやかぼちゃの育て方を教えてもらい、お店では野菜づくり談議に花が咲くそうです。



向島五丁目 石橋康人さん



▲領入れをする寺島保育園の 浅野先生

路地尊第3号

貯水槽の容量を9トンに増やし、湿水期になっても消火用水が残るように長短二本のパイプを設置し、ふたは短いパイプのバルブだけをあけています。



土に親しみたいという気持ちと、野菜の好きな父親の影響もあって、二十日大根の種をまき、五月下旬、収穫し食卓を飾ったそうです。手塩にかけて育てた大根の味はまた格別とか。「次はさつまいもに挑戦」と、もう次の計画ができていて、菜園はフル回転です。日曜日には、二人のお子さんも珍しいポンプで水くみにお手伝いするのが楽しみで、一緒に訪れるそうです。(木田文代)



東向島三丁目 井上曜子さん

味は格別よ



▲路地尊の前でテレビの取材 「いき、粋、タウンすみた」(レポーター 古今亭志ん輔)

いちごのことい
一寺言問 / 防災まちづくり瓦版
第18号 平成元年8月1日発行
編集 / 一寺言問を防災のまちにする会 編集局
高原純子・若木榮枝・木田佳男・木田文代
編集協力 / マヌ都市建築研究所
発行 / 一寺言問を防災のまちにする会 事務局
墨田区春木整備部開発促進室内
〒130 墨田区横綱1-6-1 tel (626)3151

私がまちづくりスタッフです。

東向島三丁目
大場森夫さん
(一言会理事)



めりばりの効いたよく通る声。筋道立てた話し方が印象的な大場さん。年間4回発行の「宮元町会だより」の制作に打ち込んでいらっしゃる。司書になろうと文部省埼玉大学卒業。図書館職業養成所に通うかたわら、夜は演劇の勉強に励む。舞台芸術学院卒業後、児童劇団を創って、大島、静岡、北海道と公演をして歩いた。昭和33年、お父上の突然の死がきっかけになり、稼業のガラス加工職人になる。大場さんがまちづくりに積極的に参加されているのには理由がある。昭和19年強制疎開。引越してきた東向島三丁目(現在、朝日ボラザ)では、翌年空襲にあい、焼け出されてしまう。そんな少年時代の戦争経験からも「安心してらせるまちを、子供に残していくのが、大人たちの責任だ」と思う。今夢を追っていた青春時代をすごし、なお燃えるものをまちづくりに感じている、としゃるようだ。(純)

一枚の写真

戦災復興に配給された住宅



東向島三丁目、新川屋酒店裏(改装前に写す。現在は無い)



官問小周囲道路の整備検討
官問小正門前の道路沿いの植込みの後退(細路路幅整備事業)など。



路地裏の設置(担当/わいわい会ほか)



地蔵坂通りの整備計画の検討
交通問題等を含めた計画検討、なお下水道工事は来年8月まで。(担当/東向島一丁目中町会、東向一南町会、東向島宮元町会)

一寺言問 / 今年度のまちづくり計画

- 地域防災活動拠点会議の開催
消防署や警察署など防災関係団体の集まり。一寺言問地区の災害時の活動態勢について話し合う。
- 東京の防災まちづくりサミットを一寺言問で開催
管内各地で住民主体で行われている防災まちづくり団体の一同に会し、交流を深める。



(仮)寺島のみちの整備検討
向島白花園~明通通り区間の路面舗装カーボレルのデザインなどの整備について検討をします。
(担当/東向島宮元町会、わいわい会)



向島有季園の運営・管理
利用者会議の開催、次回利用者募集など
(担当/向島五丁目中町会、わいわい会)

一寺言問地区(墨田区向島五丁目、東向島一、三丁目、堀通一丁目)の防災まちづくりは、東京都の防災生活圏モデル事業を導入し、1985年(昭和60年)度から始められています。今年5年目を迎え、地元住民のまちづくり組織「一寺言問を防災のまちにする会」(一言会)を中心に、計画の具体化がすすめられています。墨田区はこの防災まちづくりを支援しています。墨田区都市整備部開発促進室

白鷺橋病院副院長、向島医師会災害対策担当理事、東向島三丁目在住

意識があるのか、ないのか、声をかけて下さい。体を横にして寝かせて救急隊が来るのを待って下さい。呼吸が止まっている場合は、人工呼吸をして下さい。マウス・ツウ・マウスで深呼吸の息を送って下さい。普通の息では16%程度の酸素が含まれていません。向島の救急隊はともにも優秀なことで知られています。救急隊には電話できちんと住所を知らせて下さい。平均して2分でお宅に到着し、病院まで3分、合計して5分お時間ですから、落ち着いて対応して下さい。

「老人が倒れた場合」

ワンポイントアドバイス
医師会では、災害時に墨田区や消防署と協力して救護・医療にあたることになっていきます。今後は地域の人たちが、いっしょに防災対策について検討をすすめていきたいと思っています。

地震が発生した時、一番心配なのは寝たきり老人や体の不自由な方、子供です。特に、家で一人である時に火を消すことが出来るのか、また万が一の場合に誰が助けに行くのか、これは地域の問題かと思えます。そういう人たちの状況を地域で把握しておくこと、どういつ連けいで助けるかという救護体制がポイントです。一寺言問地区は防災まちづくりのモデル地区ですから、ます町会単位で状況把握からは是非始めていただければ、とお願いいたします。

わたしの一言
向島医師会
石原哲さん

旧墨堤之道の整備

計画の内容をまとまる!

旧墨堤之道(予育地蔵~白鬚神社)の整備計画は、4月24日の近隣住民による検討会、6月22日の一言会理事会を経て、次のようにまとまりました。

- 1) 道路幅員は現況のままとし、植栽帯を工夫することで歩道幅員2mを確保する。
 - 2) 車道の勾配は、歩道と車道の段差を低くし、両勾配とする。
 - 3) 電柱を細いものにする。ガードレールはとりはずし、ポラード(車止め)にする。
 - 4) 入口にシンボリックに桜(豆桜)を植える。
 - 5) 東向島三丁目側の擁壁にタイルなどで化粧をする。
 - 6) 植栽は、現在のサングジュに代わるものを植える。この他実施に向けて、要望が出されました。
- a) 旧墨堤之道は、予育地蔵と白鬚神社を結ぶ道であるので、雰囲気にあさわしい色を登定してほしい。
- b) 白鬚神社前は、みこしの出入りがあるので、ポラードの位置に配慮してほしい。
- c) 道路整備と個別の建築活動との整合性を保つため、中央倉庫、八角マンションに仕上材料の品番などを通知してほしい。
- 工事は、9月下旬~10月上旬に着工予定です。

まちづくり用地を探しています

まちづくりの計画を具体化していくには、土地が必要です。一言会では、まちづくり用地を探しています。一寺言問地区内の土地についての情報をお寄せ下さい。連絡先は下記のところまで。

墨田区横綱1-6-1 墨田区都市整備部開発促進室内 一言会・事務局
TEL (626) 3151 (内654)



辻とは、道が交差しているところ。「辻広場」はそこにつくった広場だから道の一部、住みなら楽しいまちがよいという考えから生まれたまちのミニ防災拠点、サロンの場。

てあります。広場のはずれの方にコンクリートの滝があり、雨水が流れている。「森」のテーマで子供たちの描いた絵かきやかに、色鮮やかに辻広場のへいになっていて、いつでも子供の声が聞こえているような広場ですね。

目黒の林試の森周辺では、一寺言問と同じ「東京都防災生活圏モデル事業」の防災まちづくりがおこなわれています。「ホケットオアシス」は防災拠点広場で、10トンの雨水が貯水槽に集められています。ここの「路地専」は円形のモニユメントの高さが3m位あって、モダンで洋風な感じがあります。中に消火用ポンプが収められていて、ふだんは広場の中央にあるモニユメント

トを囲む水路に水が流されていて、子供たちが水遊びができるのです。まちの人たちがゆっくりすわって憩えるオアシスになっています。

一寺言問、池袋、目黒と「路地専」の姿形は違っているけれど、考え方は同じ。天の恵みの雨水を捨てるに留めておいて、いざという時に活用しよう。そのためにふだんから水に親しんで、水の大切さを知ってらこうということ

ね。その土地柄にあった「路地専」がもっとたくさん各地でできるといいです。

詳しくは 目黒区都市計画部都市計画課 (715)1111 (内2918)
豊島区都市整備部住環境整備課 (981)1111 (内2863)

—東池袋は、サンシャインビルの足元に広がるまちで、一寺言問と同じように路地が登達しています。その路地の交差点を豊島区が買収して「辻広場」というホケットパークにしています。三つ目の辻広場に路地専の兄弟が誕生したわけですが、考え方が面白いのです。赤いほこらの「路地専」の中に小さな消防車、消火器、ホンフが内蔵されていて、地下に5トンの雨水が溜め

さる四月、路地専の兄弟ともいえる雨水貯留槽付き広場が、池袋と目黒にオーブンしました。東池袋の第三辻広場と、林試の森周辺のホケットオアシス清水がそれです。オーブン・コンク・セシモノーに出席した路地専担当の徳永暢男わいわい代表に話を伺いました。(高原純子)

目黒と池袋に



ROJESON の兄弟誕生



「ホケットオアシス」は、まちづくり用地を利用した緑地のオアシス。子供たちのはしゃぐ声と水音がまわりの奥さんたちのこころよい励ましの大合唱。



無農薬野菜を子供たちに

寺島保育園



締切最終日にすべり込みサービスの応募で見事当選。運良く入口近くの「みやこどり」(区画名)が当たり、とても喜んでいました。

年長組の20名が交代で、トマト、ピーマン、おろは、はつかだいこんの種まきを済ませました。収穫は8月頃、保育園児みんなの口に、お兄ちゃん、お姉ちゃんたちが植えた野菜がはいることでしょうか。

先生方から一言。「今年は土の手入れに時間がかかってしまいました。できることなら来年も使していただけないでしょうか!」

(若木蘭枝)